

ピアサポートの意味と組織（化）活動を考える ～コミュニティワーカーの役割は？～

私たち社協職員は、当事者団体とどうつながり、どう付き合ってきたでしょうか。単なる団体事務として？助成対象団体として？

当事者団体には、ピアサポートという意味合いと、社会そのものの変革を促すパワーがあります。地域を見渡せば、既存の組織にはない当事者性を持った住民が多数いるはずですが、昨年度研修したきょうだい支援に関しても、どの地域にもきょうだいはいるはずですが、きょうだい会がある地域はわずかしかなかった。また、100名に1名の割合で吃音の人はいるのですが、言友会は県内に2団体しかない状況です。

社協の基本に立ち返れば、こうした当事者性を持った住民とつながり、新たな団体を組織化していく、そしてその団体と共に地域福祉向上のための活動を進めるという役割があるはずですが。

今回の研修では、①新たな当事者性を持った住民とのつながり方、②組織化後の活動ならびにコミュニティワーカーの関わり方、③ソーシャルアクションへの展開、④コミュニティワーカーに求められる姿勢・スキルなど、当事者団体の組織化と組織活動について学びます。

■と き 2023年7月28日（金）13時30分～17時10分

■ところ クローバープラザ 501 研修室（春日市原町3丁目1-7）

■研修内容

13:30～13:35 開会

13:35～14:25 セッション①「ピアサポートの意味と意義」（50分）

- ・講演「ピアサポートの意味と意義、当事者運動の展開と可能性」
- ・グループワーク「①の講演で刺さったワードとその理由」

14:25～14:45 セッション②「当事者団体・家族会の活動事例」（20分）

- ・講演「当事者団体・家族会の活動事例の紹介」

14:45～14:55 休憩

14:55～15:45 セッション③「組織化と組織化後の関わり」（50分）

- ・講演「組織化と組織化後の関わりについて～スキルと視点～」
- ・グループワーク「社協ワーカーが組織化・組織支援を行う理由」

15:45～16:40 セッション④「当事者性を持つ住民との出会い方」（55分）

- ・講演「当事者性を持つ住民との出会い方～そもそも社協に相談できると思われてない!?～」
- ・グループワーク「出会ったことがない住民とつながるためにできそうなこと・やりたいこと」

16:40～17:00 セッション⑤「社協の可能性」（20分）

- ・まとめ「研修の振り返り～社協に期待することと可能性～」（15分）

17:00～17:10 閉会

■講師 松本理沙さん（北陸学院大学 教育学部 幼児教育学科 講師）



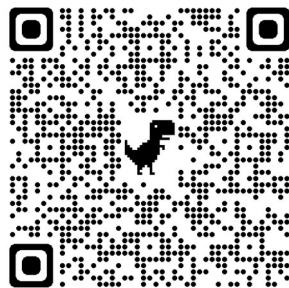
* 研究のテーマ：障害児者のきょうだい支援・ケアラー支援

* 研究内容：障害のある家族をケアする子ども・若者の支援に関する研究に取り組んでいます。特に、障害児者の「きょうだい」（障害のある兄弟姉妹がいる人）に対する支援のあり方については、自ら実践しながら検討しています。

* 研究内容のキーワード：きょうだい、ヤングケアラー（子どもケアラー）、若者ケアラー、アダルトチルドレン、セルフヘルプ・グループ、ピアサポート

◆申込み・問合せ

参加を希望される方は、**7月21日（金）17時まで**に下記QRコードからGoogleフォームにてお申し込みください。



↑↑↑

申込はここから

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdENMtUeqt6PpFRct6BhIcJX56U7uhiUa9L3xS7B63dra0jLw/viewform>

〔問合せ〕 筑後市社会福祉協議会 ト部

〒833-0032 福岡県筑後市野町 680-1

TEL 0942-52-3969

FAX 0942-53-6677

MAIL urabe@chikugo-shakyo.or.jp